

別記  
第1号様式(第14条関係)

環境マネジメントシステム導入報告書

( 宛 先 ) 京 都 府 知 事		平成 28年 7月 28日
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地) 大阪市西区新町1丁目1番17号		氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名) ナガセケムテックス株式会社 代表取締役社長 磯野 昭彦
環境マネジメントシステムの名称		ISO14001
適用範囲		ナガセケムテックス株式会社福知山事業所
導入年月日		2006年 6月 19日
認証番号		JQCA-E-0753
基本方針		1. 環境関連法規、協定他その他の受入を決めた要求事項を遵守するとともに環境に対する汚染の防止に努めます。 2. 事業所内に適切な環境マネジメントシステムを構築しその運用と継続的な改善を行います。 3. 環境に対する基本理念と環境方針を事業所で働く全ての人の間で共有し、環境教育を通じて意識の向上を図ります。またこの基本理念と環境方針を社外に対して公表します。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標(以下「目標」という。)		1. 廃棄物の削減・リサイクル化 2. 環境汚染防止 3. 法規制管理体制の強化 4. 新規技術開発・工程の見直しによる環境負荷の軽減 5. 省エネルギー活動の推進
目標を達成するための取組の内容		1. 廃棄物の削減・リサイクル化・・・試験消耗品の削減、廃液の内部処理、廃棄物のリサイクル化(金属等) 2. 環境汚染防止・・・流出防止、溶剤ガス発生抑制 3. 関係法令、外部業者、社内別事業所からの情報入手 4. 新規技術開発・工程の見直しによる環境負荷の軽減・・・環境負荷軽減製品開発、廃水、廃油の自社処理 5. 省エネルギー活動の推進・・・省エネ活動にて取り組み
目標を達成するための取組の進捗状況		1. 廃棄物の削減・リサイクル化・・・試験消耗品の削減、廃液の内部処理、廃棄物のリサイクル化(金属等)を実施中。 2. 環境汚染防止・・・流出防止、溶剤ガス発生抑制について問題なし。 3. 関係法令順守状況の定期見直しを実施。 4. 新規技術開発・工程の見直しによる環境負荷の軽減・・・環境負荷軽減製品及び既存製品生産性UPを検討中、廃水、廃油の自社処理検討中 5. 省エネルギー活動の推進・・・省エネ活動にて取り組み ・省エネタイプ、プロア(インバーター制御)への更新 ・省エネタイプ、低圧コンプレッサー(11V)への更新(220kw⇒120kw)
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価		当初の計画通りに取り組むことができています。
事業活動に係る法令の遵守の状況		関連法規の遵守状況について6カ月毎に確認を行っている。 これまで違反及び行政当局からの指摘はなかった。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容		環境マネジメントレビュー ①システムが有効に機能しているか? ⇒維持・更新審査も問題なく終了しており、マネジメントシステムは有効に機能していると判断。 ②システムの活用が実際の地球環境に貢献しているか? ⇒第1、第2工場で共に廃棄物及びエネルギー削減の活動を行ってきた結果、事業所としては、エネルギー使用量削減が出来、ムダな使用のないよう、各部署目標を掲げて活動していることから、地球環境に貢献していると考え。 ③環境や環境目標の変更の必要性 ⇒目標の中に「法規制管理体制の強化」を加えた。 ④その他、各部署報告、次年度取り組み、指示事項など。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合のみ記入してください。